

ルール運用見据え共通理解

北見市 医療・介護連携で今月研修会

入退院調整の情報共有
ルール策定を進めている
北見市は、医療機関担当
者と在宅ケアマネジャー
が互いの役割、仕組み

働き方の違いを理解でき
るよう「医療・介護連携
推進研修会」を7月に開
催する。

市は、ルール運用には
互いの置かれている状況
について理解を深めるこ
とが重要と考え、医療機

関向けと在宅ケアマネ向
けに分けて企画した。

在宅ケアマネジャー向
け（居宅介護支援事業所
小規模多機能型居宅介
護、地域包括支援センタ
ー勤務者）は14日、医療
機関担当者向け（退院調

整に関わる看護師、医療
ソーシャルワーカー）は
28日に開く。互いの研修
に参加できるようにし、
北見保健所管内行政担
当者にも参加を呼びかけ
る。

研修会では、急性期医
療機関における退院支援
の現状と課題を説明。在
宅ケアマネジャー向けに
は「退院調整の現状とケ
アマネへの要望」を総合
病院・脳神経外科病院退
院支援部門担当者、医療
機関向けは「ケアマネジ
ャーの役割と医療機関へ
の要望」を居宅介護支援
事業所や地域包括支援セ
ンター担当者が伝える。
連携手引き案（ルール案）
も説明する。